



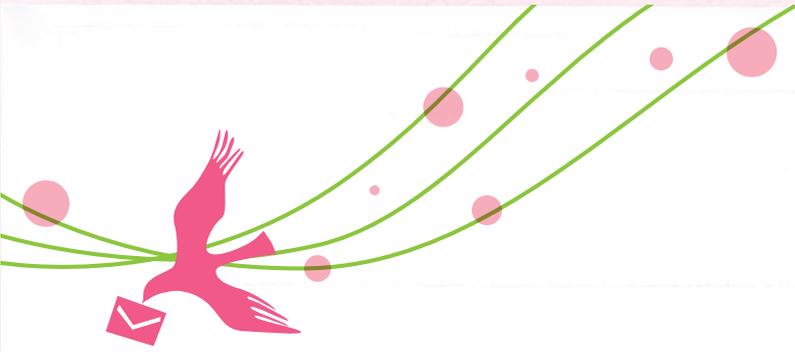
## 天使病院広報誌がリニューアル!!



INDEX

- p2 院長就任のご挨拶
- p3 周産期母子センターのご紹介
- p4-5 健診室だより
- p6 健康レシピ
- p7 トピックス  
「地域医療連携ネットワークシステムを導入しました」
- p8 天使病院リニューアル計画





天使病院 院長  
藤井 ひとみ

## 院長就任のご挨拶

この度、天使病院の病院長を拝命しました藤井ひとみです。これまで、麻酔科医として、また母として、命の尊さに感動し、命を守ることの責任の重さを経験してきました。

天使病院の歴史を紐解きますと、1911年に聖母会が“人間愛”の実践のために病院を開いたと記されています。その後100年余の長きにわたり一歩ずつ前に進みながら、今日の260床の病院に成長してきました。

私たちの法人は2010年に社会医療法人の認定を受け、地域医療に大きな役割を担うよう使命を受けました。2012年5月に産婦人科と小児科の病棟が新築され、北海道をリードする地域周産期母子医療センターとして新たな一歩を踏み出しました。次世代を担う子供達の健康を守り、子供を生み育てる若い方々に安全で安心な出産・育児環境をこれからも提供して参ります。

さらに2013年秋には内科・外科系診療科の外来・入院病棟が新築されます。

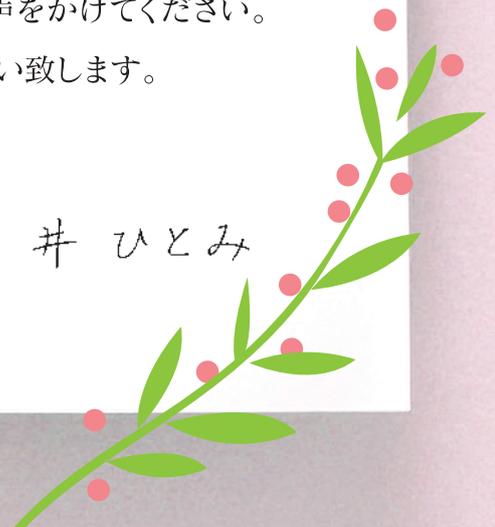
高度診断装置も充実した中核的総合病院として、周辺の医療機関との密接な連携を推進します。緊急要請にも柔軟に対応できる救急医療体制の充実を図り、地域の方々に安心をもたらす病院を創りあげて参ります。

天使病院設立の基本精神である“人間愛”を大切にして、今後も『医療人として組織として社会に貢献』し、200年目も皆さんに誇っていただけるような病院になるように願っております。

今日生まれた赤ちゃんが大人になった時に「天使病院で生まれたんだよ!」と胸を張って自慢できる病院、またその親の世代が安心して老年期の医療を託せる病院を目指していきます。

“天使病院のおかあさん”として心を込めて努力していきます。病院で見かけたときは気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお願い致します。

藤井 ひとみ



## 周産期母子センターのご紹介



皆様ご存じの通り、2012年5月に周産期母子センターを新たに開設しました。名前の通り産婦人科・小児科・NICUがメインですが、その他にも耳鼻咽喉科の外来や生理検査室、放射線検査室も配置されています。

そこで今回、産科・小児科以外の患者さんにも利用していただく機会の多い部門についてご紹介いたします。

### 生理検査室

心電図、超音波、脳波、肺機能などの検査を行います。また、最近「出生前診断」で話題の染色体検査も行っています。

(注)採血室はまだ旧棟にありますのでご注意ください。



### 放射線検査室(撮影室)

レントゲン、CT、MRI、マンモグラフィーなどの撮影を行います。新棟への移転に伴いMRIが更新されました。それにより検査時間が短くなり、患者さんへの負担も少し軽くなりました。



CTとMRIの違いなどはまた別の機会にご紹介したいと思います。

### 耳鼻咽喉科外来

「みみ」「はな」「のど」に関する病気を扱っており、新生児から高齢者まで幅広く診療しています。診察室は3つ、その他に聴力検査室があります。関連の深い小児科との距離が以前と比べてぐっと近くなり連携もよりスムーズになりました。



### 検体検査室

患者さんから採取した検体が集められ血液検査、尿検査、細菌検査などを行っています。病院内にこの部門があることで採血した当日中に結果を知る事が可能となっています。冬場のインフルエンザウイルスやノロウイルスの検査にも効果を発揮しています。



今はまだアクセスが悪く、特に放射線検査を受ける患者さんにはご迷惑をおかけしていますが、2期工事が完成すれば改善いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 健診室 だより

DOCK ROOM

自分  
メンテナンス、  
してますか…？



天使病院に**健診室**があるのはご存じですか？ 病院へは風邪などの何か症状があってから来院されているかと思います。しかし、実は健診室を有効に活用することで身体の健康状態を把握し疾病予防につながるんですよ！今回は、健診室 樟本医師に健診についてのあれこれをQ&A形式で聞いてみました。



健診室  
樟本医師

### Q 健診室ではどんなことをしているの？

健康診断を実施しています。勤労者の定期的な健康診断や、これからお勤めが始まる方の「雇用時健康診断」、学校に入学する方の「健康診断」、特定健診(40歳以上～74歳まで)、乳がん検診、人間ドッグなどです。

※平成25年4月から乳腺外科の専門医が着任し、乳腺外来が始まります。乳がん検診は乳腺外来での診察になります。

### Q 健診内容と受診間隔について教えて！

雇用時、入学時の健診内容は「労働安全衛生規則」「学校保健法」で、平成20年度から始まった「特定健診」や「後期高齢者健診」は厚労省の定める「実施基準」に必要な検査項目が決められています。法律で決められたもの以外にも、当院で検査内容を設定したオリジナルの健診があります。検査内容やオプション検査についても対応いたしますのでご相談ください。なお、健診は最低でも1年に1度は受けましょう。

※ご希望に応じてお見積りもさせていただきます。

### Q 精密検査が必要と言われたら？

精密検査が必要になった場合は、保険診療へと切り替わります。検査結果を持って外来を受診してください。

### Q 健診結果はいつどのように分かるの？

天使病院では、一般健診の場合、診察と検査結果の説明を当日に行っています。結果がすぐに分かり、1日で健診ができることがメリットです。また、結果報告書は画像検査などのダブルチェック終了後、後日送付させていただきます。

## Q 健診の料金は？

「労働安全衛生規則」に基づいたコースは ¥7,500(税別)と決められています。詳細については天使病院のホームページをご覧ください。特定健診は、加入されている保険により、自己負担額に違いがあるので、ご不明な点はおたずねください。

## Q 健診の所要時間は？

検査内容によりですが、受付からお帰りいただくまで、1時間半～2時間くらいです。検査終了後、血液・尿検査、画像検査の結果が出てから、医師による診察および結果説明を行います。

## Q 無料クーポンの使い方を教えて！

無料クーポンとは、札幌市が行っている「がん検診推進事業」の一環で発行している、乳がん、子宮がん、大腸がんを無料で受けることができるクーポン券です。乳がん検診・子宮がん検診は電話予約可能です。電話予約時に無料クーポンをお持ちである旨お申し出ください。大腸がん検診は、採便容器をお渡ししなければなりませんので、まずご連絡ください。

## Q 企業健診の手続き方法は？

企業単位でも個人でも電話予約が可能です。検査内容、請求書の発行、問診票の事前送付など、相談に応じます。

## Q どれくらいの人が健診を受けているの？

お勤めの方は、基本的に職場で年に1回は健康診断を受けているでしょう。しかし、特定健診の受診率の低さが問題となっています。国の目標は受診率70%ですが、実際は就労男性の場合で60%台であり、退職後は健診率が急激に落ちているのが現状です。女性の場合は、働いていない人も多く、その多くが健康診断を受ける習慣がないため、受診率も30%台と男性を大きく下回っています。理由として、時間がとれない、病気になったらいけばいい、面倒くさいということが挙げられています。

## Q 最後に、なぜ健診は必要なの？

疾病の早期発見が大切です。また、自身の現在の状態を把握することにより、疾病予防に役立ててもらえたらと思います。現在は、胃がん、大腸がんも早期発見できれば内視鏡で切除できる時代です。また、健康診断を受けることによって初期の段階でがんを発見し治療を始めることができます。そのため、1～2年の間隔でがん検診を受けることをお勧めします。また、疾病予防のため、天使病院では4月から特定健診でメタボと診断された場合に運動・栄養面の相談(特定保健指導)ができるようになります。最後に、車も定期的にメンテナンスしますよね？それと同じようにたまには自分の身体もメンテナンスしませんか？自分の身体は1つしかないのですから、定期的にメンテナンスをしましょう。お待ちしております。

ご予約・お問い合わせは  
「健診室」までお電話ください。  
TEL 011-711-0101(代表)



天使病院の  
健診室は  
正確さと親切が  
モットーです。

# 春野菜を使った 500kcal



## 和風献立

蛋白質 24g 脂質 17g  
塩分 2.7g 食物繊維 8.3g

- ふきごはん
- 菜の花のオープンオムレツ
- 竹の子としらたきの炒め物
- キャベツとしらすのさっと和え
- いちご

1食あたり

525kcal



この冬は野菜の価格高騰で野菜の買い控えをしていた方も多いのではないでしょうか？  
春が近づき暖かくなってきたことで、春野菜が登場し始めましたね。春野菜にはビタミンやミネラルが豊富なだけでなく、抗酸化作用成分も含まれているので積極的に利用してはいかがでしょうか？

(栄養科 葛西千佳)

吉田和博先生からひとこと  
「500kcalのメニュー」と聞いて期待と不安がりましたが、見た目にも美しく、おかずの量・味付けもよく500kcalなのに思ったよりボリュームがあり大満足でした。大好物のふきが入ったご飯は初めて食べましたが美味しくお代りをしたくなるほどでした。できることならこのような食事を毎日の昼食に食べたいですね。



### ふきごはん

1人分

273kcal

蛋白質 6g 脂質 4.8g 塩分 0.9g 食物繊維 0.9g

#### 【材料(1人分)】

- ・ごはん 120g
- ・ふき水煮 40g(中1本)
- ・小揚 1枚(10g)
- ・しょうゆ 小さじ1
- ・酒 小さじ1/2
- ・みりん 小さじ1/2
- ・油 少々

#### 【作り方】

1. ふきは5mmくらいの小口切りにする。小揚は油抜きしてから短冊切りにする。
2. フライパンに油を熱し、水気を切ったふきと小揚を炒める。
3. 酒、みりん、しょうゆを加え汁気がなくなるまで炒める。
4. 炊いたごはんに3を加え、良く混ぜ合わせる。

### 菜の花のオープンオムレツ

1人分

143kcal

蛋白質 10g 脂質 8.3g 塩分 1.0g 食物繊維 3.1g

#### 【材料(1人分)】

- ・菜の花 60g(2本)
- ・卵 1個
- ・牛乳 大さじ1
- ・プチトマト 3個
- ・しょうゆ 小さじ1/2
- 塩 少々
- A { こしょう 少々
- バター 3g

#### 【作り方】

1. 菜の花は4cmくらいの長さに切り下茹でする。火が通ったら水にさらし、水気を切っておく。
2. プチトマトは半分に切る。卵は溶きほぐしておき牛乳を加える。
3. フライパンにバターを入れ、菜の花とプチトマトをさっと炒める。卵を加え、半熟になったらAで味を調え火を止める。

### 竹の子としらたきの炒め物

1人分

64kcal

蛋白質 5.6g 脂質 3.5g 塩分 0.3g 食物繊維 2.2g

#### 【材料(1人分)】

- ・たけのこ水煮 30g
- ・しらたき 40g
- ・豚肉 20g
- ・しょうゆ 小さじ1/2
- ・みりん 小さじ1/2
- ・油 少々
- ・ごま油 少々

#### 【作り方】

1. 竹の子は千切りにする。しらたきは5cmくらいの長さに切っておく。
2. 豚肉は太めの千切りにする。
3. フライパンに油とごま油を熱し、豚肉を炒める。豚肉の色が変わったら竹の子、しらたきを加えさらに炒める。
4. しょうゆ、みりんで味を調え、水気がなくなるまで炒める。

### キャベツとしらすのさっと和え

1人分

28kcal

蛋白質 1.9g 脂質 0.6g 塩分 0.5g 食物繊維 1.4g

#### 【材料(1人分)】

- ・春キャベツ 70g
- ・しらす干し 3g
- ・ポン酢 小さじ1
- ・ごま 少々

#### 【作り方】

1. キャベツはざく切りにして、耐熱皿にのせラップをふんわりかけて電子レンジで1分加熱する。あら熱を取っておく。
2. しらすは軽く湯通しし、水気をきっておく。
3. キャベツにポン酢を加え、よく揉み込んで味をなじませる。しらすを上から散らす。



4月18日(木) 天使病院の食堂で実際にこのメニューを **限定15食** (税込550円/食) 提供します!(売り切れの場合はご了承ください。)

## ● Topix

# 地域医療連携 ネットワークシステムを 導入しました!

● 患者さんの診療情報を  
安全に共有します! ●

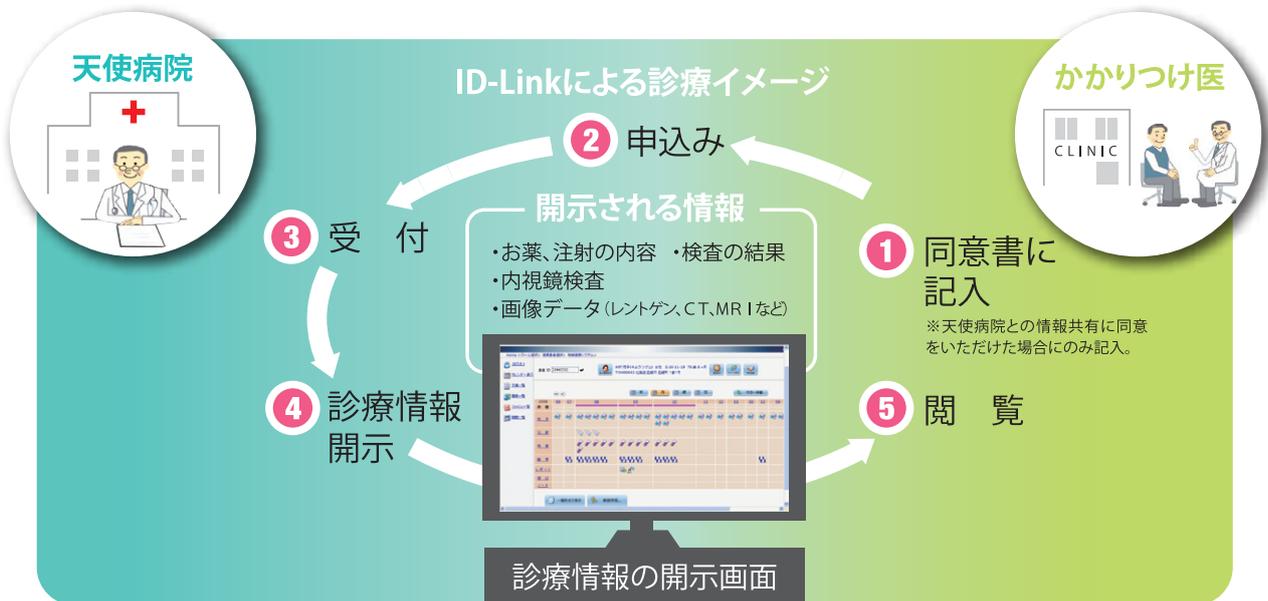


## 地域医療連携ネットワークシステムとは

天使病院と地域の医療機関との間で、個人情報を保護した上で、

**ID-Link**という仕組みにより、インターネット回線を用いて医療情報

(例えば、お薬、注射、血液検査の結果、レントゲン、CT、MRI、心電図等)を共有するシステムです。



### ● 患者さんのメリットは?

複数の医療機関に通院していても…

- (1) 医療情報を共有する事で、一貫した医療が可能になります。
- (2) 重複した薬の処方や検査を防ぐことができます。

### ● 地域の先生方の声

「天使病院に紹介した患者さんの、天使病院での検査結果や薬や注射などの内容がタイムリーにわかるのがいい」「まずは利用してみたい」等の声が聞かれています。

### ● 地域の医療機関と一緒にシステムを構築していきます!

札幌医療情報共有システム協議会を立ち上げました。協議会の役割は、地域の先生方と天使病院の医師が集まり、よりよいシステム構築を目指して検討していく事です。現在、鈴木内科循環器クリニック、札幌麻生脳神経外科病院、東栄病院、東苗穂病院、みきファミリークリニックの5医療機関が参加してくださっています。

第1回 札幌医療情報共有システム協議会  
～平成25年2月25日開催～



**ID-Link 利用希望の医療機関を募集しています!**

# 天使病院 100年 のあゆみ

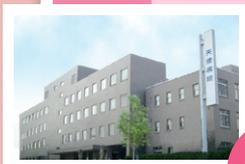
1911



1969



1985



2014  
秋



## 天使病院リニューアル計画

天使病院では、病院全面建替えを計画し2011年5月に着工しました。着工した2011年は創立100周年にあたる年で、この記念すべき年に新たな一步を踏み出すことができたことは大変感慨深く、今まで天使病院を支えてくださったすべての皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

### 2012年5月、周産期母子センター開設

第1期工事では、産科、小児科領域を中心とした『周産期母子センター』を建設し、2012年の5月に無事開設いたしました。周産期母子センターには産婦人科、小児科、NICUの外来と入院病棟、そして耳鼻咽喉科の外来と生理検査や放射線科といった検査部門があります。1階フロアは周産期の患者さんだけでなく多くの患者さんにご利用いただく機会の多い施設になっています。(詳しいご紹介はP.3をご覧ください)

### 2012年8月、第2期工事開始

2012年8月、引き続き第2期工事が始まりました。第2期では、内科系、外科系の入院病棟とその外来部門を中心に整備します。その他健診室や透析室、化学療法室なども拡充される予定です。第2期工事の竣工は2013年秋を予定しています。

### 2014年秋、完成

第2期工事終了後は、現在の手術棟の改修工事に引き続き、病院前の駐車場や外構工事など仕上げの工事として第3期工事を予定しています。それらすべてが終了するのは2014年の秋です。今まで以上に医療を通して地域の皆様に貢献できる環境づくりを目指しています。

工事期間中も今までと変わらず診療を行っております。ただ、何かとご不便をおかけすることもあると存じますが、何卒ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。  
※工事の様子はホームページ「てんちゃんブログ」でご紹介しています。

広報誌 「天使びょういん」第28号  
発行日 平成25年4月15日  
発行人 院長 藤井ひとみ  
編集 「天使びょういん」編集委員会

### 編集後記

約5年間の休刊期間を経て、この度内容を一新して再刊することになりました。季節ごとに年4回の発行を予定しています。今後ともよろしくお願いいたします。

